

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法

- A) 目的：運動器疾患の手術に関する大規模データベースの構築
- B) 方法：日本整形外科学会が運営するインターネット上のレジストリシステムへの登録

2. 利用又は提供する資料・情報の項目（注 1）

- A) データベースの 1 階部分（日整会主導の調査項目）：患者 ID（匿名化 ID①：各データ登録機関のルールにより個人情報保護法に準拠し作成し、対応表で管理する。匿名化 ID②：データ登録機関コード＋ナンバリング）、年齢、性別、ハッシュ値①（患者氏名＜読み＞、性別、生年月日、その他の項目より作成→アウトカムとしての再手術時の患者突合に利用）、医療機関コード、疾患情報（標準病名、ICD-10 コード、病名管理番号、病名変換用コード）、手術情報（K コード、入院・外来別）、手術時間、麻酔時間、手術日、術者情報（日整会会員情報と連結）、看護師数、技師数、治療成績（術後 30 日におけるアウトカム「改善・不変・悪化・術後 30 日以内の再入院」）

- B) データベースの 2 階部分（関連学会または研究班主導の調査項目）

I. 人工関節手術（日本人工関節学会）

- ① ハッシュ値②（患者の出身県、患者名＜読み＞の最初の一文字を加え作成する）
- ② 手術内容（THA、TKA/UKA/PFA、解剖学的 TSA/リバーズ型 TSA）
- ③ 手術概要：
 - 1. 初回手術：手術側、既往手術、手術診断名
 - 2. 再手術：初回手術年月日、初回手術施設名、初回手術診断名、手術側、手術の理由、手術の内容、抜去したインプラント情報
- ④ 手術手技：アプローチ、大転子、最小侵襲手技、ナビゲーション・システム、セメント、セメント商品情報、抗生剤含有セメント、抗生剤情報、骨移植、生体活性材料の使用、生体活性材料商品情報、補強部品、補強部品商品情報
- ⑤ 使用したコンポーネント(股臼側、インサート、大腿骨側、骨頭、スクリュー、その他)
- ⑥ 術前及び術後 1～2 年の患者立脚型評価（PROMs）：THA HOOS-JR, EQ-5D-3L; TKA/UKA/PFA KOOS-JR, EQ-5D-3L; TSA/reverse TSA Shoulder 36, EQ-5D-3L

II. 関節鏡視下手術（日本スポーツ整形外科学会）

全部位共通：身長・体重・BMI、スポーツとの関連性の有無

- ① 手術のプロファイル：術中のトラブル
- ② 部位/手術内容：手術部位(膝関節、肘関節、肩関節、手関節、足関節、脊椎、股関節)
 - 1. 膝関節：実施した鏡視下手術（半月板切除術/縫合術/制動術、前十字

靱帯再建術/前外側補強術、後十字靱帯再建術、ACL,PCL 以外の靱帯手術、複合靱帯再建術/修復術、膝周囲骨切り術、軟骨修復術、滑膜切除術・デブリドマン)

2. 肩関節：実施した鏡視下手術（腱板修復術、バンカート修復術、その他の関節唇手術、HAGL/関節包修復術、観血的関節授動術、デブリドマン、肩峰形成術、再鏡視）
3. 足関節：スポーツ活動レベル
実施した鏡視下手術（足関節前方インピンジメント症候群に対する鏡視下手術、足関節後方インピンジメント症候群に対する鏡視下手術、骨軟骨損傷に対する鏡視下手術または検査、鏡視下関節固定術、新鮮または陳旧性靱帯損傷に対する鏡視下手術または検査）
4. 股関節：実施した鏡視下手術（股関節インピンジメント、股関節唇処置、臼蓋緑領域の MAHORN 分類、大腿骨頭靱帯、遊離体、臼蓋形成不全の処置）スポーツに関連する股関節鏡手術は日本股関節学会の股関節鏡レジストリーからデータ提供を受ける。
5. 肘関節：実施した鏡視下手術（(関節鏡視下関節鼠摘出術、滑膜切除術、関節内骨折観血的手術、受動術、骨棘切除術、上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する手術)
実施した直視下手術（靱帯断裂形成手術/修復術/神経剥離術/制動術）
6. 脊椎：スポーツ関連の脊椎手術は、III. 脊椎脊髄手術（日本脊椎脊髄病学会）と登録症例を共有する。

③ 灌流液：使用した灌流液、灌流液の使用量、灌流方法

④ 術中・術後合併症：手術器具の破損、手術での合併組織損傷、術後合併症

III. 脊椎脊髄手術（日本脊椎脊髄病学会）

- ① 患者背景：身長、体重、既往症、併存症、全身状態、生活歴、検査所見、服用薬、神経障害・膀胱直腸障害の有無
- ② 手術関連情報：詳細術式、手術部位、手術適応病名、詳細病名、緊急手術/予定手術、オープン、手術/経皮的手術、ASA、術中出血量、骨移植の種類、使用インプラント
- ③ 治療成績：手術成績評価（健康関連 QOL、JOA スコアなど）、画像所見、術中・術後合併症（術後 1 ヶ月間まで）、通常行われる血液・培養検査結果、合併症関連情報

IV. 脊柱靱帯骨化症手術（脊柱靱帯骨化症に関する調査研究班）

- ① 患者基本データ（ハッシュ値、身長、体重、喫煙歴、抗凝固薬・抗血小板薬の服用、併存症）
- ② 症状・病歴（神経症状、JOA スコア）
- ③ 画像所見（骨化のタイプ、骨化の範囲）
- ④ 手術内容（術式、除圧範囲、固定範囲、使用インプラント）
- ⑤ 術中脊髄モニタリング所見

- ⑥ 術中・術後合併症
- ⑦ 疼痛（VAS スコア）

V. 早期発症側彎症手術（日本側彎症学会）

- ① 患者背景：診断名、側弯の分類、原疾患、骨成熟度、身長、体重、座高、生育歴
- ② 手術関連情報：詳細術式、手術部位、固定範囲、合併症、再手術回数
- ③ 治療成績：手治療成績：手術成績評価（EOSQ-24 など）、画像所見、術中・術後合併症（対象患者が満 18 歳になるまで）

VI. 上記以外の手術は順次、関連学会・研究班等と協議の上、追加する。

（注 1）医療機関により提出する資料・情報が異なります。必要な項目のみの情報公開を行ってください（研究計画書・別紙 2 参照）

3. 利用する者の範囲

- A) 登録されたデータを利活用して医学研究を実施する際には、日本整形外科学会が審査の上、日本整形外科学会員又は関連学会員が利用する
- B) 有害事象や不具合が発生した場合、医学的・人道的見地から登録されたデータを製造販売業者や審査機関に提供する
- C) 医療の進歩や安全性向上を目的とした医療機器の開発や改良のために製造販売企業に提供する

4. 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

- A) 公益社団法人 日本整形外科学会
- B) 理事 川口善治 （症例レジストリー委員会担当）

5. 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する。

6. 5.の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

A) 受付先

○ ○病院○○科

〒 ○○県○○市○○町○-○

電話 平日 ○○-○○-○○○○、夜間・休日 ○○-○○-○○○○

B) 受付方法

窓口での受付

郵送
電話